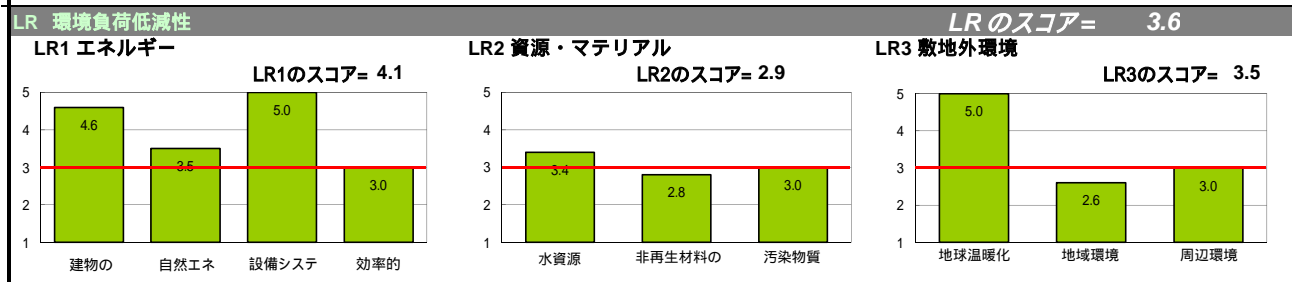
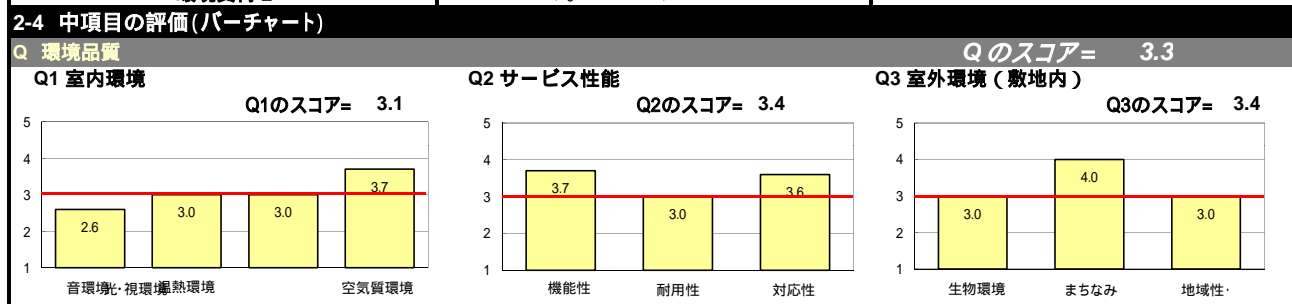
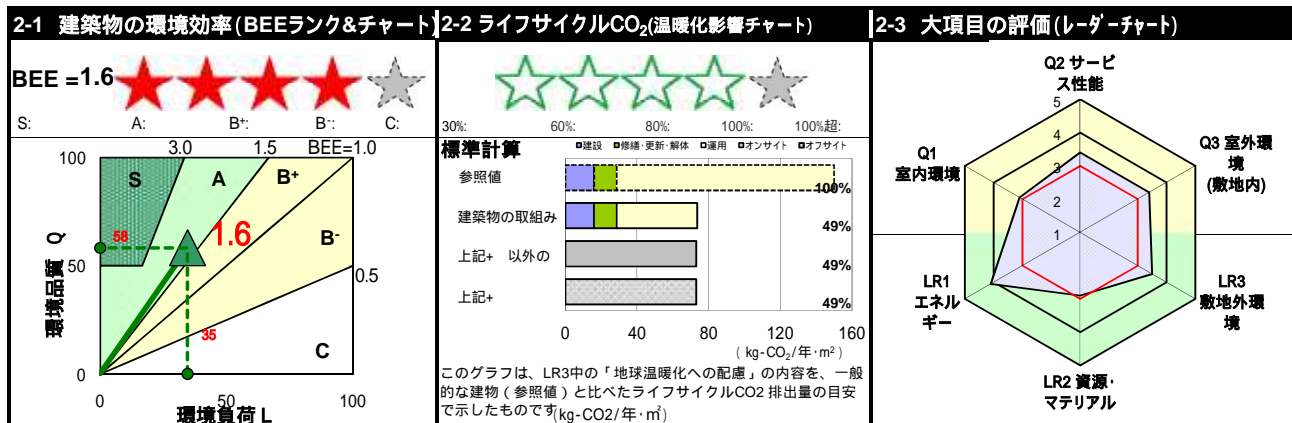


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小田急相武台ビル	階数	地上5F
建設地	座間市相武台1丁目4516番1外10筆	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,000 人
気候区分		年間使用時間	4,700 時間/年
建物用途	物販店、飲食店、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年6月 予定	評価の実施日	2012年7月8日
敷地面積	3,221 m ²	作成者	清水建設株式会社
建築面積	2,175 m ²	確認日	2012年7月10日
延床面積	7,919 m ²	確認者	清水建設株式会社



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>太陽光発電の導入他、環境に配慮した各所採り込みを行なった。また周辺環境に配慮した景観計画、交通計画を行なう他、駅隣接施設としてバリアフリーに努め、地域に溶け込む施設づくりに心掛けた。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>物販施設の特性上、開口部は全体的には少ないが、ロータリー側に唯一設けた開口部についても、庇を設けるなど直射日光の侵入を極力抑える設計とした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>不特定多数の利用がある施設につき、バリアフリーは徹底した。またLED照明器具の全面採用他、建物の維持管理に配慮した設計とした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>周辺の町並みに配慮したファサード計画に心掛けた。0.1mの大きさを面で分節することにより圧迫感の抑制に努めた。また敷地内緑化に努めた。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>太陽光発電を導入し、自然エネルギーの活用に配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具の採用など省資源に配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>雨水は敷地内浸透を前提として雨水浸透槽を設け、雨水流出の回避に努めた。また建物内に相当数の駐輪場を設けて、交通負荷抑制に努めた。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される